

「共生のまちを目指して！障がい者施設デジタルスタンプラリー＆書道パフォーマンス」 (地域づくり活動NPO事業助成)

特非) あしやNPOセンター

1. 事業が目指すところ

目指すところは、「共生のまちづくり」。

芦屋市では市内の障がいのある人のこと、そのような人の居場所となる施設のことを知っている子どもたちが少ないことが分かり、「だれも取り残さない、安心安全な共生のまち」を目指すには、若い世代から意識付けをしていくことも大事な取組みであると考え、障がい者施設の動画制作、それを見てもらうためのスタンプラリー、周知啓蒙するイベントの開催を行った。

2. 活動内容

4月下旬 …編成&企画会議（撮影スタッフ、編集スタッフ、イベントスタッフなど）

5月初旬 …動画撮影希望施設の募集

6月12日…動画撮影講習会

6月中旬 …施設訪問&動画撮影開始、編集作業 ～7月初旬まで

7月26日～8月6日…デジタルスタンプラリークイズ景品交換

8月12日…書道パフォーマンス

(芦屋市市制80周年東京パラリンピック採火式「あしやの火」プログラム)

10月下旬 …障がい者施設紹介冊子制作&配布

3. 成果や問題点

(1)成果

- ・普段は入ることがない障がい者施設を往訪、見学する貴重な体験ができた。また、編集作業は多世代チームワークが機能し、期限内で終わることができた。
- ・デジタルスタンプラリークイズ景品交換所には、2週間で父兄合わせて約300人が来場。動画を見てクイズに答えるというアイデアが生かされた。動画(YouTube)視聴回数が1施設150～250回になるといった効果が得られた。
- ・書道パフォーマンスは、芦屋市と協働したことで、広報に大きな成果があった。

(2)事業の反省点

- ・紹介冊子のリリースがずれ込んでしまった。

4. 今後の展望、成果の活用

動画の視聴を増やしていくために、当法人が運営している地域情報サイト「ためまっぶ芦屋」に掲載し、共生のまちづくりに有効なツールとして活用してゆく。

「共生」という目的に向かって、多世代、異なる団体がボランティアで協力して進めていくことや力強いメッセージを残すことができるようなイベントや活動を提案、実践をしてゆく。

